

P 計画の基本事項			
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進		
施策	(3) 高校生以上の学生		
施策の方向性	高校や大学等に通う学生時代は、将来や自分の人生について特に考えをめぐらせる時期であるとともに、読書から離れやすい時期でもあります。学生が読書に興味を持ち、必要な情報を得たり今後のライフスタイルの参考にできる本と出会えるよう、積極的な情報発信及び支援を行います。また、学生の読書率を高めるため、読書の魅力を共有できる仲間との出会いをつくる取組を行います。		
主な取組	①本の紹介		
	②読書活動の促進		
	③調べ学習の促進		
成果指標	1か月の読書率	策定時点	目標値(R9)
		77.8%	80.0%
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)			
評価指標	重点事業	指標	実績(R6) 目標値(R6)
評価指標	おすすめ本や新着図書情報の提供	年間発信回数	37回 28回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①本の紹介		達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館においてInstagramで月1回の特集案内と新刊おすすめを計37回投稿した。これにより、YAコーナーの認知度が高まり、Instagramを活用する利用者に効果的に情報を届けられた。今後は、Instagramの掲載内容を紙で掲示し、来館者に対する周知も強化していく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館において、「わいわいぱらら」を年5回、筑紫中央高校へ配布した。今年度から特別号で同校の司書によるおすすめ本を執筆してもらったことで、校内での認知度の向上に繋がった。今後は、高校生が興味を持つ選書やテーマ設定を行い、魅力的な紙面づくりに注力していく。</p>		①効果が期待以上 ※目標回数を超えるおすすめ本や新着図書情報の提供を実施したことから、期待以上とした。
	②読書活動の促進		達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館では6月から1月にかけてほぼ毎月、職場体験(13名)や見学(306名)などを受け入れた。特に施設見学の希望が多いため、今後は来館した児童生徒に対し、将来の図書館利用へと繋がるような魅力的な紹介を工夫して行っていく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館において、筑紫中央高校への絵本の読み聞かせ講座など、出前講座を2回実施し、YAコーナーや情報誌「わいわいぱらら」のPRに繋がった。今後は、筑紫中央高校の生徒や職場体験の高校生にPOP作成を依頼するなど、筑紫中央高校とのコラボレーションの実現に向け調整していく。</p>		②期待どおり
	③調べ学習の促進		達成状況
◆筑紫中央高校からまどかぴあ図書館に、図書館司書を目指す人向けの本やチョコレートに関する絵本について問い合わせが		②期待どおり	

	あった。団体貸出はなかったものの、紹介した本は生徒の案内や授業で活用されたと認識する。今後は筑紫中央高校の利用促進を図りつつ、実用書など調べ学習に役立つ資料の選書を強化していく。	
C 評価		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。調べもの学習を実施する上で、学校で購入していない資料をまどかぴあ図書館で借りることができた。	
検討が 必要な事項	◆学校も含めて相互に資料を補完できないか検討してほしい。	
A 改善		
改善結果		